

大和 勲

ForISESAKI ～伊勢崎・群馬のために～ & GUNMA



保育士・保育所 支援センター

令和5年度開設

大和勲議員は自民党群馬県連政調会長として、令和4年10月19日県保育協議会 深町穰会長から県保育士・保育所支援センターの設置や保育士配置への補助金等について要望を頂きました(写真)。大和議員は、今までに数回「支援センター」に関しては、一般質問や常任委員会を取り上げています。また、自民党県連から知事へ要望も行っています。これらが功を奏して、下記新聞記事の通り令和5年度に県保育士・保育所支援センターの設置が決定しました。

また、過去の一般質問では、県保育士採用試験を年1回から2回へ提案し、平成28年度から導入されました。また、保育士就学資金貸付制度の延長も要望し、現在も継続されています。

更に、本年2月25日に自由民主党本部において行われた「全国政務調査会長会議」で、大和勲議員から萩生田光一政調会長へ、保育士の配置基準の見直しと処遇改善を要望しました。今後も保育業界発展のため、関係団体、保護者の皆さんと連携します。



群馬県議会議員 大和 勲

上毛新聞

保育人材の確保に向け、県は新年度、保育施設への就職を希望する学生らに働き先を紹介する「保育士・保育所支援センター」を立ち上げる。資格を持ちながら仕事に就いていない「潜在保

育士」の多さが課題となっており、元保育士の復職支援に力を入れる。相談事業などを通じて現役保育士の定着や職場環境の改善も進め、年300人程度とされる人手不足の解消を目指す。

新年度に県 不足解消へ「センター」設置

県は、保育現場の人手不足は慢性的な課題だ。県内は約1万人の保育士が約6000の保育施設で働いているが、県が保育施設を対象に行っている調査では毎年3000人程度が不足している。一方で保育士登録をしている人は約2万5千人おり、有資格者の多くが現場から離れている計算となる。

また、保育人材を養成する県内の大学や短大、専門学校計15校を昨年3月に卒

業した保育士資格取得者523人のうち、実際に保育園や認定こども園に就職したのは315人と6割にとどまった。

全国的に保育士による園児への虐待事件や、送迎バス内の園児置き去りなどが相次いでおり、保育士の人材確保や育成、負担感の軽減は急務。こうした有資格者をいかに保育施設と結び付けるかが鍵となる。

同課は「潜在保育士の方々にいかに現場に戻っても

保育士に就職先紹介 有資格者 復職支援に力

業した保育士資格取得者523人のうち、実際に保育園や認定こども園に就職したのは315人と6割にとどまった。

全国的に保育士による園児への虐待事件や、送迎バス内の園児置き去りなどが相次いでおり、保育士の人材確保や育成、負担感の軽減は急務。こうした有資格者をいかに保育施設と結び付けるかが鍵となる。

同課は「潜在保育士の方々にいかに現場に戻っても

業した保育士資格取得者523人のうち、実際に保育園や認定こども園に就職したのは315人と6割にとどまった。

全国的に保育士による園児への虐待事件や、送迎バス内の園児置き去りなどが相次いでおり、保育士の人材確保や育成、負担感の軽減は急務。こうした有資格者をいかに保育施設と結び付けるかが鍵となる。

同課は「潜在保育士の方々にいかに現場に戻っても



▲県保育協議会の深町穰会長から要望を受け取る
大和政調会長と伊藤清総務会長

▲3月4日上毛新聞に掲載されました

代表質問を行いました

県議会第1回定例会 各派代表質問

自民

大和 勲氏



▼新年度当初予算案
大和氏 予算編成への思いと重点施策は。知事 ポストコロナ新時代創生予算と名付けた。逆境に立ち向かい、県民の命と健康、暮らしを守る取り組みを進めながら、新しい

群馬をつくるための取り組みに投資する。重点施策はウエルビーイング（心身の健康や幸福感）を高める、未来への投資、財政健全性確保の3点。最大の目標の県民幸福度向上の原点に立ち戻って、群馬の明日、未来をつくる思いを話めた。

「転職なき移住」を支援

▼移住支援
大和氏 移住希望地ランキングの本県順位

▼県立小児医療センターから10年程度必要だが、可能な限り早期に術分野の大規模商談会へ共同出展する。

▼産業界
大和氏 自動車産業は100年に1度の大変革期にある。自動車サプライヤー支援センターを推進し、状況を開き、自動車の先端技

▼林業振興
大和氏 木製品との触れ合いを通じて木の良さを学ぶ「木育」の進捗状況を聞き

▼森林局長 本年度までの2年間の木育インストラクター養成講座で54人を登録した。講座への応募は定員の2倍だったので、新年度は複数回開催する。保育園など7園に木育の支援もした。

くんまちゃんグッズ売上高 27年度までに830億円 知事が目標

県のマスコット「くんまちゃん」のブランド化をめざし、山本一太知事は21日の県議会本会議で、2023年度は630億円と設定する関連グッズの売上高を、27年度までに830億円まで成長させる目標を明らかにした。将来的には売上高1500億円を視野に入れる。県は新年度、記念事業を展開しながら県内経済への波及拡大を狙う。

	全国認知度	好感度	関連グッズ売上高
2023年度	55%	13%	630億円
27年度	70%	20%	830億円

同日の代表質問で、大和勲氏（自民）の質問に答えた。県が成果目標を公表するのは初めて。グッズ売上高は独自調査し、認知度や好感度の数値は日本リサーチセンター（東京）が毎年発表している調査から

山本知事は答弁で、くんまちゃんは「最大のキラコンテンツ」だとして、新年度予算に関連費用約3億3千万円を計上し、アニメの放送や海外販路の開拓、YouTubeチャンネル「くまちゃん」の配信などの事業を展開することを明らかにした。23年度の認知度は55%、好感度は36%と、この目標を達成させる。

▲2月22日代表質問の内容が上毛新聞に掲載されました



▲代表質問を行う大和県議

▲第1回定例会代表質問が、2月22日の上毛新聞に掲載されました

大和 いさお プロフィール

西 暦	内 容
1964年	伊勢崎市山王町に生まれる
1983年	群馬県立桐生高等学校 卒業
1988年	高崎市立高崎経済大学 卒業
1999年	(株)プラグシティ（現ベシア電器）執行役員営業部長
2006年	伊勢崎市PTA連合会長
2010年	伊勢崎市議会議員選挙 4,265票にて当選
2015年	群馬県議会議員選挙 10,728票にて当選
2019年	群馬県議会議員選挙 11,303票にて当選
現在	社会福祉法人 育明会（しいの実保育園・すみれこども園）事務長 一般社団法人キッズベース（あすなろ館・くるみ・あおまたけのこ・アイビー児童クラブ）代表理事 伊勢崎ロータリークラブ会員 伊勢崎合気道顧問、伊勢崎市綱引き協会・伊勢崎ジュニアオーケストラ 学童野球広瀬メッツOB会・少年サッカー広瀬JFC 役員



群馬県議会議員での経歴

西 暦	内 容
2019年（令和元年）	群馬県議会議員2期 常任委員会 厚生文化常任委員会 委員長 特別委員会 外国人との共生に関する特別委員会 議会基本条例推進委員会 委員 議会運営委員会 副委員長 決算特別委員会副委員長 自民党役職 県連筆頭副幹事長
2020年（令和2年）	常任委員会 文教警察常任委員会 委員長 特別委員会 危機管理対策特別委員会 自民党役職 県連総務副会長
2021年（令和3年）	常任委員会 産経土木常任委員会 委員長 特別委員会 脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会 副委員長
2022年（令和4年）	常任委員会 文教警察常任委員会 特別委員会 子育て・障がい者支援に関する特別委員会 自民党群馬県連 政務調査会長



県議会議員 大和 勲 事務所 ～伊勢崎・群馬のために～

大和 勲

検索

伊勢崎市山王町1142-6（あすなろ館児童クラブ内） 電話 0270-23-7797 FAX 0270-27-5260
メールアドレス info@isao-y.net ホームページアドレス https://www.isao-y.net/



HP QRコード